

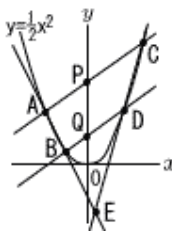
② 関数

2 1 放物線と平行線

月 日 ()

1 東京工大附属科技高校 (R 5年) ★★

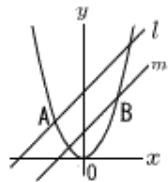
図のように、関数、 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフ上に x 座標が負である点A,Bをとり、 x 座標が正である点C,Dをとる。直線ACと直線BDの傾きはともに1であり、AC,BDと y 軸との交点をそれぞれP,Qとすると、 $AP:PC = 2:3$ 、 $BQ:QD = 1:2$ である。また、直線ABとCDの交点をEとするとき、



- (1) 点Aの座標を求めなさい。
- (2) 直線BDの式を求めなさい。
- (3) 四角形ABDCの面積をS、 $\triangle BDE$ の面積をTとするとき、 $S:T$ をもっとも簡単な比で表しなさい。

3 桐光学園高校 (R 5年) ★★

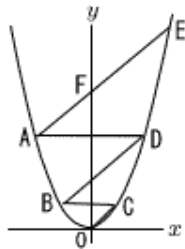
図のように、放物線 $y = \frac{1}{2}x^2 \dots \textcircled{1}$ 、直線 $l: y = x + 4 \dots \textcircled{2}$ 、および直線 l と平行な直線 m がある。直線 l と放物線 $\textcircled{1}$ の交点のうち x 座標が小さい方をA、直線 m と放物線 $\textcircled{1}$ の交点のうち x 座標が大きい方をBとする。点Bの x 座標が3であるとき、



- (1) 点Aの座標を求めよ。
- (2) 直線 m の式を求めよ。
- (3) 点Aで直線 l に接する円が、直線 m 上の2点B,Pを通るとき、点Pの座標を求めよ。

2 灘 高校 (R 4年) ★★★

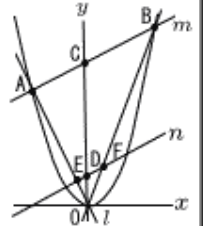
図のように、 $y = ax^2$ のグラフ上に5点A,B,C,D,Eがあり、直線ADと直線BCはともに x 軸に平行で、 $AE \parallel BD \parallel OC$ である。ただし、Oは原点である。また、直線AEと y 軸の交点をFとする。Cの x 座標を t とするとき、



- (1) DとEの x 座標をそれぞれ t で表せ。
D...[] E...[]
- (2) $\triangle DEF$ の面積を a と t で表せ。
- (3) Aの x 座標が -3 のとき、Oを通り六角形ABOCDEの面積を二等分する直線の傾きが14であった。 a の値を求めよ。

4 灘 高校 (R 5年) ★★

a は2より小さい正の数である。放物線 $y = \frac{1}{2}ax^2 \dots \textcircled{1}$ と直線 $l: y = -2x$ がある。 $\textcircled{1}$ と l の交点のうち、原点O(0,0)でない方をAとする。また、Aを通り傾きが $\frac{1}{2}$ である直線を m とし、 $\textcircled{1}$ と m の交点のうちAでない方をBとする。



- (1) A,Bの座標を a を用いて表すと、 $A(,)$ $B(,)$ である。
- (2) m と y 軸の交点をCとする。点D(0, a)を通り直線 m に平行な直線を n とする。 l と n との交点をEとし、 n と直線OBとの交点をFとする。
(a) $\triangle ODF$ の面積を a を用いて表せ。
(b) $\triangle ODF$ の面積と四角ACDEの面積が等しいような a の値を求めよ。